

令和2年度 第1回四万十市子ども・子育て会議 議事録

【日時】 令和3年1月6日（水）午後2時～

【場所】 四万十市役所6階 議員協議会室

【出席委員】 11名

谷本委員、佐竹委員、宮崎委員、刈谷委員、須山委員、岡委員、山沖委員、
福留委員、岡村委員、山崎委員、宮本委員

【欠席委員】 3名

武市委員、高松委員、黒石委員

【事務局】 6名

子育て支援課 武田課長、田村課長補佐、宇都宮保育係長、名本支援係長、
阿部企画係長、刈谷会計年度任用職員

【要 旨】

1 開会

(1) 会長挨拶

会長より挨拶。

(2) 各委員自己紹介

出席委員の自己紹介。

(3) 事務局紹介

事務局職員の自己紹介。

(4) 会議の成立

子ども・子育て会議条例第6条第2項に基づき会議の成立を報告。

2 議事等

- (1) 第2期四万十市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理について
事務局より説明。

<主な説明内容>

令和元年度に第2期計画を策定した。計画は、取り組むべき内容を示したもので、目標数値は掲げていない。計画の内容に沿って施策を推進していくために、指標を定めて取り組む。現在空欄になっているものも含め、多項目にわたるが、指標の設定方針等について意見をいただきたい。指標については今回が最終決定ではなく、委員の皆さんからご意見を頂いたうえで、市の関係課による連携会議で内容を調整し、次回の会で最終決定としたい。

■出された意見等

委員	「ひとり親家庭自立支援教育訓練事業等の活用、普及を行う」は、どう普及しているのか。
事務局	具体的に細かな分まで把握ができていない。ただ、調査して確認出来ている内容として、ホームページ・広報等で知らせているのが実情。今より良くなる事を目標としたいと考えている。

委員	自分たちも目標・指標を決め、何%達成したかというのをしているが、こんなに白紙で大丈夫か。目標を「実施」しているが、単にチラシを配るだけでも「実施」だが、果たして本当に周知されて行くのか不安である。
事務局	具体的な数字目標を示していきたい。
議長(会長)	不登校から、やがては社会人の引きこもりが非常に指摘されているが、この計画においてどこが担当するようになっているのか。
事務局	ひきこもり対策という部分の具体的な文言は、この計画上出せていない。具体的なものはないが、複数の部署が連携して取り組む必要があるので、今後考えていく。
議長(会長)	根本的な方法を検討するということがネットワークの推進だと思う。今日の市内の小中学生の不登校の数、それから結果的にひきこもりとなったという社会人の数が把握できているなら教えて欲しい。
事務局	県レベルの 40～50 代の引きこもりの数は非常に多いと公表された数字は見たことはある。20～40 代の引きこもりの方は訪問しても会えず、状況を把握できないことが多く、市単位では数値化されていない。
議長(会長)	小中学校はどうか。
事務局	教育委員会に聞けば分かるが、現在手元に資料がない。 担当部門だけでは新しい施策は進展しない事実はあると思う。今年度は庁内連携会議というものを作り、担当者レベルと課長までの 2 階層でしっかり情報共有してやっていく。来年度からは会議に関係課の課長も参加するなど改善は検討する。
委員	「子どもの生きる力を育む学校教育の環境整備」のスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの配置の数字は、カウンセラーやワーカーの数と相談数のどちらになるのか。
事務局	相談件数や満足度を目標数とするのは難しいが、取組み結果をしっかりと集計したうえで報告する形としたい。
委員	進捗管理では PDCA を確立していくのが大事。可能なものは数値化した目標にし、改善に活かしてほしい。
事務局	できるだけ数値化します。

(2) 四万十市保育計画第 2 期の中間見直しについて

事務局より説明。

<主な説明内容>

平成 29 年度に策定した「四万十市保育計画第 2 期」は本年度が中間年である。計画前半の 2 年間で様々な取り組みを行い状況も変わってきていることから、内容の見直しを行うもの。見直しは、現状に沿った内容への修正や、拠点的施設の明確化、市町村整備計画の変更など、部

分的なものである。今回は、事務局案に意見をもらい、内容の修正。後日「子ども子育て検討会」にて、保護者や事業関係者からの意見をもらったうえで、次回の会で最終案を提案し確定したいと考えている。

■出された意見等

委員	保育士の数は足りているのか。
事務局	保育所職員数は足りていないため、会計年度任用職員で充当している。
委員	家庭支援保育士の職務内容を教えて欲しい。
事務局	虐待の恐れがあったり、障害をもつ子どもの多い保育所に配置しており、対応や支援とその記録をしている。
委員	統合は対象年齢の人数をベースに決めているのか。
事務局	入所児童数は参考にしているが、地域住民との話し合いをして決めている。
委員	「保育所職員研修の充実」は公立・民間関係なく保育士の養成ということに着目しているのか。
事務局	今年から民間と公立が学びあう交流研修を始めた。民間も公立も含めた研修を展開していきたい。
委員	統合・民営化の検証と書かれているが、具体的にはどういった検証するのか。
事務局	統合計画は今のところない。民営化についても具体的な計画はないが、全国的な動きを見ながら検討していく。
委員	具同保育所建設が、公設公営と民設民営と両方載っているがどういうことか。
事務局	どちらにするかまだ確定していないため、このような表記になっている。
委員	アウェイ育児が除け者の育児のように感じるが、言い方は変更できないか。
事務局	検討する。

(3) 事業の実施状況について

①子育て座談会の実施結果

事務局より説明。

【主な説明内容】

12月6日に「市長と語ろう 子育て座談会」と題して、座談会を開催した。保護者12名、市議会議員2名、子育て事業関係者6名の参加のもと、保育環境の充実、子どもの安全確保、遊び場の整備、子育て情報の効果的な提供など多くの意見が出された。出してもらった意見は別表にQ&A形式にしているので見てほしい。実施内容については、ホームページ及び広報等で周知する。

■出された意見等

議長(会長)	こういう場を出来るだけ多く持ち、市長自らが耳を傾けて、それをしっかり活かした姿勢をぜひ見せていただきたい。 ～その他意見なし～
--------	--

②子育て応援フェイスブックの開始

事務局より説明。

【主な説明内容】

子育て世代からは、子育て情報を携帯等で見られるように提供してほしいとの声があり、新しい情報発信の方法として実施する。記事は市の子ども・子育て関係する部署から提出してもらい発信する。今後、関係各課と最終調整を行い、年度内には開始できるように取り組んでいく。

■出された意見等

	～意見なし～
--	--------

(4) その他

事務局より次回会議の予定について説明。

次回の子ども子育て会議は、2月上旬を予定している

3 閉会

その他意見なく閉会となる。